

35周年を迎えます



東京・区立美術館ネットワーク連携事業 東京の猫たち

場 目黒区美術館(目黒2-4-36 区民センター内、
☎3714-1201、☎3715-9328)

目黒区美術館は今から35年前の1987年に、都内7番目の区立の美術館として開館しました。2018年から、都内の区立美術館11館が集まり、「東京・区立美術館ネットワーク」として連携活動を続けています。

今回、ネットワークに参加する10館から、猫を描写した作品が、目黒区美術館に集結します。

多くの芸術家にとって、社会にとらわれない自由な存在として憧れや共感の対象でもある猫。各館自慢の猫たちは、単にかわいらしいだけでなく、作家が猫を描くことの意味を提示し、また各館のコレクションの特徴を反映しています。展示を通して、多彩な東京の区立美術館の活動についてご紹介します。



▲朝倉文夫「たま(好日)」1930年、
ブロンズ45.5×37.7×19.0cm
台東区立朝倉彫塑館



▲市川甘斎「葛飾真草画譜 上」画帖、24.2×33.6cm
すみだ北斎美術館(5/22まで展示)

時 10:00~18:00
(入館は17:30まで。月曜日休館)
¥ 一般800(600)円、
高校生・大学生・65歳以上600(500)円、
中学生以下無料
※障害のあるかたと付き添い者1人は無料
※()は20人以上の団体料金

区民割引

区内在住・在勤・在学が分かるものを提示すると、団体料金で入場できます(他の割引と併用不可)



▲稲垣知雄「猫面A」1974年、
木版・紙、15.0×10cm
世田谷美術館



▲秋山泰計「(夢の旅Ⅱ)B猫(部分)」1985年、
木版・墨・紙、51.4×72.6cm
渋谷区立松濤美術館

子

産後の生活を助けます

家事育児支援ヘルパー派遣事業 家事育児サポーター利用費助成事業

目黒区子ども家庭支援センター事業係(☎5722-6836、☎5722-9684)

4年度から、家事育児支援ヘルパー派遣事業を拡充するほか、新しく家事育児サポーター利用費助成事業を開始して、産後をサポートします。

拡充
します

家事育児支援
ヘルパー派遣

乳児の世話や家事を援助するヘルパーを派遣します。4月から、利用できる期間と時間を増やしました。申し込み方法など詳細は、区HP(コード①)をご覧ください。



利用期間 出産予定日の1カ月前～1歳未満(60時間以内)

※双子以上の場合、出産予定日の1カ月前～2歳未満(1歳未満まで=120時間以内、1～2歳未満=90時間以内)

¥1時間500円(開始から6時間は無料)

※生活保護・住民税非課税世帯は無料

新たに
始めます

家事育児サポーター
(産後ドゥーラ)
利用費助成

家事育児サポーターの産後ドゥーラは、産後間もない母親に寄り添いながら家事や育児の支援、子育て相談などの日常生活を支える専門員です。産後の体と心をサポートするため、家庭の状況に合わせたプランを考え、支援します。

区と提携した家事育児サポーターの利用料の一部を助成します。申し込み方法など詳細は、区HP(コード②)をご覧ください。



利用期間 産後6カ月以内(30時間以内)

※双子以上の場合60時間以内
助成費用 1時間2,000円(プランニングは1回のみ1,000円)



産後ドゥーラ養成講座の 受講費助成

区内で活動する家事育児サポーターを養成するため、受講料の一部を助成します。詳細は区HP(コード③)をご覧ください。



対4年度実施の一般社団法人ドゥーラ協会の産後ドゥーラ養成講座
助成費用 20万円